

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき，教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い，その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

平成27年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

平成27年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み，成果等を取りまとめ教育に関し学識経験を有する方から総合的な評価を受けた。

○ご意見をいただいた学識経験者

（順不同，敬称略）

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
廣 瀬 征 夫	元常総市立石下小学校長

総合評価

はじめに

平成27年9月の未曾有の豪雨災害に対して、「教育は停滞させられない」との使命感と責任感により、幼稚園、小・中学校の早期再開，それに続く復旧工事への着手，児童生徒のメンタル面のフォロー等ハード，ソフト両面からの復旧・復興への取り組みに敬意を表する。

学校以外の施設も被害を受け，また避難所となるなどして，計画されていた事業の中止や通常業務の縮小となった。被災した施設の早期復旧並びに今後の活発な事業展開を期待したい。

1 「学校教育を充実し，次世代を育てる」ことについて

- 「確かな学力」を身につけるために学習指導要領の精神に則り指導することが求められる。学校教育において教員の指導力の向上は必須条件であり，充実した研修の場の整備を望む。各校はカリキュラム・マネジメントを十分に行い，「学校改善プラン」を有効に活用することが求められる。
- 自主学習の習慣化，基礎基本の定着を目指す「常総ほっとサタデー教室」は，一人一人を大切にする教育の基本である。今後も指導スタッフの充実や実施場所の拡充等学習支援の継続を望む。
- 教科指導や校務において進められているICT活用に際しては，適切なセキュリティの確保に努められたい。また，児童生徒への情報モラル教育も重要であり，推進を図られたい。
- 教育環境の整備・充実を図り，安全安心に教育を受けられる環境を整えることは教育に携わる者の務めであり，特に老朽化した施設の改修は必須である。
近年の地球温暖化による気候変動に対応し，良好な学習環境提供のため，普通教室等への空調機器設置が着実に進められており，評価できる。
- 引き続き「市立幼稚園のあり方検討会」等を活用して幼稚園の再編統合を推進されたい。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」 ことについて

- 高齢化社会を迎え、各自のライフスタイルに応じた学習機会を提供することは、市民の生きがい、向上心の発揚、自己実現への主体的な取り組み等への支援となっており、さらなる拡充を望む。また、開講講座のマンネリ化や受講者の固定化も見受けられ、より多くの市民が参加できる企画の提供等改善に努められたい。
- 長塚節文学賞、篠山木挽き唄全国大会、市民文化祭、鴻野山遺跡調査等様々な文化事業の実施は、市の文化度を測るバロメーターであり、今後も施策の充実を図られたい。特に長塚節文学賞は全国的な関心事業となっており、益々の発展を願う。
- 「少年の主張大会」は子供たちの視野を拡大したり、柔軟な発想力を高めたりする絶好の機会であり、継続、充実を望む。
- 総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」は、生涯スポーツ振興の核となるものであり、幼児から高齢者まで幅広いニーズに対応した活動となるよう積極的な支援を期待する。
- 合併10周年記念常総市駅伝が豪雨災害により中止となったが、復興を印象付け市民に元気を与える行事として、今後の開催を望む。また、継続的行事に発展するよう努力されたい。